

メールのエクスポート/共有

メールエクスポート（またはメール共有）機能を使用すると、選択したメール（複数可）を HTML 形式または PDF 形式で他のユーザーと共有できます。MBox ビューアは、選択したメール（複数可）をエクスポートする際に、ExportCache フォルダ内に以下のファイルを作成します。エクスポートされるのは、選択したメールに関連するファイルのみです。

1. 「選択したメールをファイルにエクスポート」オプション。メールをエクスポートすると、以下のファイルが作成されます。
 - a. ExportCache フォルダ内に SelectedMailName.htm ファイルが1つ作成されます。SelectedMailName は選択されたメールに固有の名前です。ユーザーは「ファイル」→「印刷設定」→「カスタムテンプレート」→「カスタムテンプレートの作成」ダイアログから、ファイル名のカスタムテンプレートを定義できます。
 - b. すべてのインライン添付ファイルと非インライン添付ファイルの「添付ファイル」フォルダー。
2. 「選択した複数のメールを別々のファイルにエクスポートする」オプション。複数のメールを別々のファイルにエクスポートすると、以下のファイルとフォルダが作成されます。
 - a. すべてのメールを、添付ファイル インジケーター、日付、件名、送信元、宛先の列を持つテーブルとして表示する index.html ファイル。
 - b. HTML 形式でエクスポートされたすべてのメールは「Mails」フォルダに保存されます。MBox Viewer は、エクスポートされたメールごとに SelectedMailName.htm ファイルを作成します。SelectedMailName は、選択されたメールに固有の名前です。ユーザーは、「ファイル」->「印刷設定」->「カスタムテンプレート」->「カスタムテンプレートの作成」ダイアログで、ファイル名のカスタムテンプレートを定義できます。
 - c. すべてのインライン添付ファイルと非インライン添付ファイルを格納する「添付ファイル」フォルダ
3. 「選択した複数のメールを1つのファイルにエクスポートする」オプション。複数のメールを1つのファイルにエクスポートすると、以下のファイルが作成されます。
 - a. ExportCache フォルダ内の SelectedMailName.htm ファイル。SelectedMailName は、連結される選択されたメールに対して作成された一意の名前です。
 - b. すべてのインライン添付ファイルと非インライン添付ファイルを格納する「添付ファイル」フォルダ

いずれの場合も、ユーザーが必要に応じてメールから PDF ファイルを作成するための export Mails2Pdf.cmd ファイルが AttachmentCache フォルダに作成されます。MBox Viewer は、添付ファイルへのリンクが絶対リンクとして作成され、ローカルコンピュータでのみ機能するため、デフォルトではメールを PDF 形式でエクスポートしません。代わりに、MBox Viewer はユーザーがローカルで PDF ファイルを作成できるようにコマンドスクリプトを作成します。

ユーザーのコンピュータには Edge または Chrome ブラウザがインストールされている必要があります。

MBox Viewer では、mbox メールファイルごとに 1 つのエクスポートが可能です。エクスポート済みのファイルが既に存在する場合、ExportCache フォルダを別の場所にコピーするか、既存のエクスポートフォルダを上書きして既存のファイルを削除し、新しいファイルを作成するかを選択するよう求められます。

「選択したメールをエクスポート」→「設定」オプションで、リンクされたドキュメントの開き方（添付ファイルへのリンク、または index.html ファイル内のメールへのリンク）を設定できます。「印刷設定」→「HTML/PDF メールヘッダー設定」→「添付ファイルリンクの開き方」オプションでも同様の設定が可能です。これらの設定は永続的です。